

共通論題：震災と被災地経済の復興

<報告者>

西山慎一（東北大）

<演題>

東日本大震災からの企業復興：『震災復興企業実態調査』から見えてくる被災地企業のヒト・モノ・カネに関する復興状況

<報告要旨>

東日本大震災から4年が経ち、復興政策の重点は復旧から復興へとシフトしている。政府・自治体による復興政策の有効性もさることながら、被災地が本格的に復興できるか否かは被災地における民間企業の活動に掛かっている。また、被災地が震災以前の水準を超えて復興を果たす（創造的復興）ためには、企業活動についても震災以前よりも活発化していることが要件の一つとなってくる。被災地企業が順調に復興しているのか、あるいは停滞しているのかを継続的にモニタリングしていくことは、被災地復興の成否を測る指標となり得る。

東北大学経済学研究科・震災復興研究センターでは、被災地企業の復興実態を定量的に把握し、その中長期的な復興過程を記録に残すため、『震災復興企業実態調査』と題したアンケート調査を2012年度から開始した。本報告においては、過去3年間の企業アンケート調査から見えてくる被災地企業の復興実態を、ヒト・モノ・カネの観点から報告するとともに、被災地企業が抱える問題点や課題を指摘する。